

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		越境汚染対策としての国際協調モデルの構築－日韓の環境対策連携－			
研究テーマ (欧文) AZ		Making an International Cooperation Model for the Cross-border Pollution Control - Environmental Protection Cooperation between Japan and Korea -			
研究氏 代 表 名 者	カカナ CC	姓)フカガワ	名)ヒロシ	研究期間 B	2009 ~ 2011年
	漢字 CB	深川	博史	報告年度 YR	2011年
	ローマ字 CZ	FUKAGAWA	HIROSHI	研究機関名	九州大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		九州大学大学院経済学研究院・教授			
概要 EA (600字～800字程度にまとめてください。)					
<p>東アジアからの越境汚染が深刻化するなか、九州地域では、隣接する韓国との間で危機感が共有されている。本研究では、越境汚染の影響下にある、日韓の研究者で問題意識を共有し、発生源地域の中国に関する社会経済分析から、越境汚染への国際協調の可能性を検討した。</p> <p>従来の、越境環境問題には、科学技術の分野からのアプローチが主であり、データ蓄積に成果はあげているものの、即効性のある対策には期待できなかった。本研究プロジェクトでは、越境環境問題の中から黄砂問題を取りあげて、日韓の研究者が問題意識を共有し、科学技術分野とは異なる、オルタナティブの分析手法開発を目指した。</p> <p>検討の結果は、黄砂の発生は、発生源地域の中国モンゴル地域の社会経済状況が関係しており、とくに、日韓企業の中国への進出や自由貿易振興が、間接的に、発生源地域の問題を深刻化させているというものであった。近年のグローバル化に伴い、東アジア近隣諸国の交易は益々盛んになりつつある。更なる交易の拡大を目指して、日中韓FTA(自由貿易協定)推進に関わる議論も喧しい。しかしながら、東アジア間の交易拡大は、間接的であれ越境環境問題を誘発する仕組みを内包することが、本研究から明らかになった。海峡を接する日韓両地域の工業製品需要が、中国内の、供給システムを過剰に働かせることで、中国内の環境に重い負荷をかけることとなり、黄砂等の越境環境問題を引き起こしている。今後、越境環境問題を解決するために、日中韓の3国が、協力して、貿易と生産量を調整し、中国の環境負荷を減らしていく必要がある。日韓研究者の共同研究は、以上のような結論に達した。このような研究は、いまだ中間段階であるが、現在進行中の東アジア自由貿易地域策定や地域グローバル化の議論に関して一石を投じることとなる。</p> <p>尚、本研究については、九州大学で2011年9月30日に開催される日韓の国際シンポジウム(海峡圏セミナー)において、成果発表を行う予定である。</p>					
キーワード FA	越境汚染	越境環境問題	日韓	環境対策	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 ^{GB}	越境する環境問題 - 黄砂の社会経済的分析 -							
	著者名 ^{GA}	深川博史	雑誌名 ^{GC}	韓国経済研究					
	ページ ^{GF}	1~10	発行年 ^{GE}	2	0	1	1	巻号 ^{GD}	第10巻
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	~	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	~	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	

欧文概要 EZ

In Kyushu Region, the trans-boundary pollution from East Asia has been seriously. In Korea, the trans-boundary environmental problems are worsening. In this study, the researchers from Japan and Korea, has examined this issue together, and consider the possibility of international cooperation on the trans-boundary environmental problems.

On the trans-boundary environmental problems, the approach has been primarily from the fields of science and technology. Such studies are primarily intended to accumulate data, but it is difficult to solve the problems quickly.

In this study project, we have taken up the yellow dust problem, aimed at developing an alternatives approach. Our result is that, the yellow sand has deep relationship with socio-economic status of CJK. In particular, promotion of free trade systems between CJK, is related to the problems. In neighboring countries in East Asia, aiming to further expand trade, are actively discussing the FTA. However, the expanding trade between East Asia, has mechanism to induce cross-border environmental issues. The product demand from Japan and Korea's, make to work the Chinese supply systems in excess. It put a heavy load on the environment in China, and caused environmental problems.

In order to resolve the trans-boundary environmental issues, East Asian countries will be need to adjust the amount of trade and production, to reduce the environmental impact of China. The outcome of this study will be discussed in the Japan-Korea International Symposium, to be held on September 30, 2011 at Kyushu University.